

九月一日

英炭九四百七拾五噸購入貯蔵せしむべき旨佐鎮
長官、訓令
(官房機密第九九四號)

但臨時軍事費艦營費支弁

九月一日煉炭製造所、於此煉炭現在高左、通
電信報告

第一種英煉炭

一、二、五、四、四噸

第二種英煉炭

一、二、九、六噸

九月二日

昨日官房機密第九四號ヲ以テ購入貯蔵方訓
令ノ美炭九四百七拾五噸、昨年官房機密第一
五八二號訓令ニ係ルストローク高會納九壹萬噸
ニ對スル過剩格載炭ニシテ志也并金拾八圓ノ割
ヲ納入可致旨本部長、佐鎮長官ノ通牒

(艦本機密第三四三號)

右裏、九壹萬噸ニ對スル購入代價二噸并金拾九圓六拾五
錢、モリ過剩炭ノ分、右減價購入ノモナリ

1563

九月三日

南三山嶋燈台、要スル照燈用器具及消耗品、艦管
需品トシテ佐世保ニ於テ購買スヘキ、處其ノ内摺附木、
羚羊革及糸扇、外ハ各其實際使用ニ適切モノナ
ラサル可カラサルモノニ付テハ是等、横濱タル航路標識
管理所ノ購買方至急依託シ而シテ一應需品庫ノ
受入ノ上直ニ佐需ノ保転送付方本部長、経理局長
連名ニテ横工廠長、照會(艦本第二六六一號)
右之趣同シテ連名ニテ佐工廠長、
佐経理部長、
通牒

(右 同 辨ノニ)

右燈台、必要ノ需品調書去月廿九日軍機一〇九八號ヲ以テ管
理所長、加藤大監ノ送付モノアリ

九月六日

螺切施盤壹臺外貳麻

右煉炭所諸機械修理用トシテ必要ニ付目下旅

鎮工作廠保管ノ戰利品中ヲ適當ノモノヲ讓受、

上備付方詮議ヲ得度義煉炭所長ヲ本部

長、具申(八月廿九日付 臨海煉炭第三號)依リ九月一日進達處

右煉炭所、送附方旅鎮長訓令シ置キ、以テ現

品到着上、煉炭所ノシテ見積代價ヲ付シ尤受

立テ其代價ノ經理局長、報告セシムヘキ旨本部

長、訓令(九月六日官房第三三三七號二)

右訓令、趣テ本部長ヲ煉炭所長、示達(艦本第ニ六八一號一)

(艦本第ニ六八一號二)

潮味納

1568

九月八日

第三多津丸ニ第三種炭約貳百五拾噸特ニ供給
方佐鎮長官ノ訓令 (官房第三四二四第)

右第三多津丸ニ陸軍ノ運送船ニシテ海底線敷設ニ從事
シツアリテ海軍ヨリ石炭ノ供給ヲ受テサレハ門司ヨリ回航セサル可
カラサルノ不便ヲ依テ曾テ通信省所管ノ仲僈丸・石炭ノ供
給ニシテ例ニ依リ本件通り取扱ヒシマナリ

亦本件供給方ニ付佐需ト往復セリ (艦本ニ第人三三三及二三三四五)

1569

九月十一日

大浦丸、第二種炭供給差支ナキヤノ工作船三池丸ヨリ電信未問(九日着電)ニ対シ、第三種炭ノ供給ノ受ル能ハル場合ニ限リ、第二種炭ノ供用差支ナキ旨本部ヨリ迄電

右、本年官房機密第七八九號訓令ニ基キ回答

木螺廻 外參拾麻

右、佐海團、新兵臨時入團ノ為メ、既定数量ニハ渡付スル不足有、臨時貸與ノ義認許ノ得度旨佐鎮長官ヨリ上申(九月五日付佐鎮第(七九)官房第(三四一四)號)、處認許指令(官房第(三四一四)號、三)

備考 数量ニ上申額ヲ多少削減

滋味

1573

九月十二日

津輕海峽水雷敷設船日英丸及榮城丸。本年
四月官房機密第四六號。依、袋詰美炭三千
噸ヲ搭載セシメ新茂田丸。本年六月官房機密第七
八號。依、船脚、釣合上且補給用ノ兼子以、美炭
五百噸ヲ搭載セシメ。再來艦隊等、補給ノ必要ナ
ク既、新茂田丸、如キ以、漸次腐朽シテ臭氣ヲ散
生シ衛生上有害、有之亦日英丸、榮城丸、石炭袋
腐朽ノ虞、凡ソ以テ此際何レモ函館支庫ニ陸揚、
上更ニ航海ノ釣合ニ必要ナル程度ニ於テ函館若リハ
室蘭ニ於テ第三種炭ノ搭載セシメ度義横鎮長
官ノ上申(各付横鎮機密第五九五號ニ
官房機密第一〇九號)ニ對シ認許
但、搭載美炭何レモ大湊、陸揚ノ事ニ指令

1574

(官房機密第一九九號之二)

右大港、陸揚ノ事、ナリハ今後函館ニ多量英炭ノ貯藏ノ要セザルベキ見込又大港ニ此際六百坪、仮炭庫ヲ建設相成ルモ苦ニ今後運搬等ノ繁煩ノ避ク此際右通り取斗ノヲ特策ト認メシ依ル

採炭所、於テ新坑ノ開鑿採炭事業ノ擴張又煉炭所、在テ長門炭礦初期ノ採掘ニシテ共ニ採炭事業ノ擴大ノ企圖スル共テ今後ニ處スル兩所施設ノ良否ニ永久ノ利害ニ多大ノ關係ヲ及ボス義ニ付斯業ノ完成ヲ期スル為メ學術、經驗ヲ重クシ専門家ヲシテ右兩所、炭業事務ニ均シク從事セシメ度ニ付テハ^{石田}臨時煉炭所設立委員ヲ解キ

煉炭所及採炭所、炭業事務嘱託し報酬
月額金百五拾圓給與、事、致度義本部長、
上申
(艦本機密第三五六號ニ)

本件付テ煉炭所長ヲ、臨海煉炭機密ニニ號及同ニ三號
又採炭所長ヲ、七日付海採機密第三三號(艦本機密第三五六
號)ノ以テ本部宛具申アリ

1576

九月十四日

沈没艦船引揚事業ニ使用中、猿橋丸、栗橋丸、蒸氣、使用多ク量ニシテ第三種炭ノミニテハ汽釀充分ナラズ事業上至大ノ影響有アルヲ以テ沈没艦船引揚排水ノ際ニ限リ第一種炭併用ハ裁特認可ノ得度義旅鎮長官アリ上申

(四日付旅鎮第四〇〇號ノ一三七三官房第三四九二號)

右對ニ第二種炭若シハ第一種炭ノ供用セシムル事ニ認許電信指令

1578

九月十五日

各需より既保転受ノ雜粉炭(美粉炭、他種炭ノ混合)

及今後ノ分并煉炭ノ粉末ハ改造美粉炭豫定數

量ノ範圍内ニ於テ第二種煉炭トシテ製造方本

部長ヲ煉炭所長ハ示達(艦本第二七九五號)

右之趣各工廠長ハ通牒(右同 號ノ二)

臨時軍事費艦營費三拾四萬圓以内ニテ美粉炭

凡四萬噸ヲ煉炭ニ改造シ本部長限リ各工廠需品

庫ニ配炭セシム事ニ致度義仰裁濟

十四日
官房機密第一〇三五號

追テ製造方ハロツクヲ取急ギ購入シ各軍港粉未送

炭順序ニ從ヒ極力製造セシムコト

右、臨時軍事費ヲ以テ購入ノ英炭ハ八拾萬噸以上ニシテ之ヨリ
生ゼシ粉末ノ大半凡六萬噸ハ、農・官房機密第四五六號
決裁ニ基キ今ヤ其概半ノ製造ヲ了スルモ購入英炭全部、
リ生スヘキ粉末ハ更ニ四萬噸ヲ算シ得ヘシ之等ノ各軍港
其他ノ貯炭場ノ掃蕩スルト同時ニ徳山ニ回送シ漸次煉
炭ニ改造シ有効品トシテ之キ主意ニ依ル

右決裁濟ノ趣本部長ヨリ煉炭所長ニ示達
(機密第三六二號)

九月十六日

煉炭製造所製造煉炭現在高左衛門通第一種炭 (十五匁)

第一種炭 一四、九一匁 第二種炭 一、二九六匁

煉炭所粉炭置場地盤打固ノ用トシテ旅鎮保管ノ戦利セメシト、内貳千樽ノ煉炭所ニ允受使用ノ件所長ヲ上申(官房煉炭第四部)付本部長ヲ進達ノ處旅鎮長官訓令趣及現品到着トシテ煉炭所ノシテ見積代價ノ附シ允受ニ立テシテ其代價ノ經理局長ノ報告セシムヘキ旨訓令

(官房第三四九號三) 艦本第二八二三號

1583

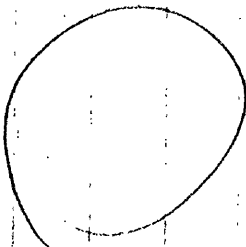
九月十八日

在旅順戰利セメント受人使用方臨海煉第四八二號
上申ノ件去ル十六日官房第三四九號ノニ、通り訓
令、趣ノ本部長ヲ煉炭所長、示達

(艦本第二八二三號ニ)

去七月末第四艦隊機関官四名ヲ樺太、ウオエードスカ
ヤ、炭山、視察ノ遂ケタル報告書及其後嚴寫艦ニ
於テ四艦隊機関長監督ノ下、施行、談炭試焚
成績並、視察ノ當時渡押波ノ品面六葉談艦
隊長官ヲ進達(八月十七日付)
(艦機密第一六〇號ニ)、依リ嚴寫艦
在ル本炭成部ヲ横領賀、回送シ試験罐ニテ試
焚ノ事シ談艦隊長官幕僚及横需主管ハ

三十三号



夫々二部長照會(八月七日) 尚ホ本部長日

横工廠長ノ試焚ノ上成績報告方照會(八月廿二日)

艦本第ニ五三六號(中)處昨二十日付横廠第四〇七號

ノリニ成績報告未レ 艦本第ニ五三六號(二)

尚ホ造船廠ニ於ケル分拆試験成績アリ(九月日造船一五四ノ二)

艦營需品並艦船及兵器ノ附屬スル柔軟鋼線網
及鋼線網ノ當分ノ向東京製鋼株式會社製品
ヲ使用スル事ニ定メ義仰裁濟

(官房第三五五六號)

右、三年七年前、談社製品ノ限リ、使用ノ處本年

一月官房第一五五號ニテ時局平穩ニ帰スル迄ノ間

臨機ノ處置トシテ一般ノ製造品中適當ナルモノヲ撰

！使用スル事：決裁相成リシモ其後會社ノ製造力ヲ擴
張シ且ツ時局ニ對シ急速ノ需要モ大ニ減少シ隨テ今後
ノ供給上差支ナキト認志ニ依ル

1586

部
録

1587

九月二十日

特務艦隊、於八月分石炭及航海用消耗品消
耗品費高ノ訣艦隊司令官ヨリ電信報告
第三艦隊、於八月分艦隊機関長ヨリ二部長(電信
報告

今後購入、日本煉炭株式會社製第一種煉炭
凡壹萬噸、舞鶴へ保轉送付ノ事ニ本部長ヨ
リ佐鎮長官へ通牒 (艦本第貳八五三號)
右之趣本部長ヨリ舞鎮長官へ通牒

(右同 舞ノ三)

右貯藏場所ナキ旨ヲ以テ他工廠へ配炭方法工廠ヨリ
本部へ電請(十五日着電)ニ依

右付本炭貯藏庫、都合上保轉、昔及今後艦船
ニ概シテ煉炭ヲ使用セラルル、若シ右ハ必シモ永久的
貯藏ノ要ナキト兼知リ、度吉ニ部長ヨリ舞工廠
長へ通牒

(艦本貳第八七五號)

1589

后炭及航海用消耗品在岸高湖(二十八年九月二十日現在)

横需	四〇六五四	一六、三三三	五、九三三	六、九一六	九、二二二	一、四五二	四、一五四	一、七三二
具需	四、五八〇一	八、九一四	九、六八〇	四、五三三	一、二八八	七、九三六	四、三五三	五、九九二
佐需	三〇、七八七六	二、六七三二	九、九九三	一、五三〇二	一、二四三七	一、七三三二	二、九四二六	三、〇〇〇〇
舞需	二、一五三三	一、四八九三	一、三、三六五	四、三〇六	二、三〇八一	一、三、五九八	三、六八九四	三、二四二二
竹需	二、四七九四	四、八九五	一〇、三九九	一、三三	二、四八四	一、一〇、一一	四、一五〇	二、三八四
馬需	八、五四〇	一、二三	二、九	四、七	四、三〇二	三、六三六	三、四三	
文需	一、五二六	五、三九	八、三五〇	六、二〇二	二、八七二	二、八九四	八、八〇五	
防需	五、三九四	一、一五〇	〇	七、一九七				
旅需								
合計	四、五八五四	六、六九〇	一、二、九九六	二、六、四七	五、六、九二八	四、八、七、九二六	一、七、〇、二、七、一、二、三、三、六、三、七、二、八、五〇	

九月二十二日

第三艦隊於本月分石炭及航海用消耗品消費高、該艦隊長官より電信報告

艦營需品並艦船及兵器、附屬する柔軟鋼線網及鋼線網使用方、聞て去ル十八日官房第三五五六號決裁、趣本部より四鎮長官へ通牒

(艦本第三七九號)

前件本部長より造兵廠長へ通達

(右同 詳一ノ二)

宗谷艦回航に要する艦營需品、供給、本年官房第二七六五號訓令に依り、キ義に付、昨年九月官房

機密第一二九八號訓令「ロイヤル」回航用艦營需品
供給方々関する件、自然消滅ト兼知アリ度義次官
ヨリ佐鎮長官へ通牒
(官房第三六二二號)

(参照)

一官房機密第一二九八號訓令「石炭」除ク外本邦へ回航
為メ要スル需品、所屬需品庫ヨリ回航委員長へ備品
貸典消耗品供給セシメ其数量及代價ヲ報告方ノ件
但シ消耗品總テ第一種消耗品トシテ管理セラル

一官房第二七六五號訓令「戦利艦内地へ回航」為メ要スル艦
營需品、當該回航員へ備品貸典消耗品總テ消耗材
トシテ供給セラル件

石炭及航海用消耗品消費在庫高十日二十日月

未三回、電信報告、自今通報及ハサル上尙當二部
リ、函館支庫、大連灣防備隊（通牒）

（艦本ニ第ハ三第）

1593

九月二十三日

防煙具八拾組及酸素製造機械壹組至急購
入方訓令 横鎮長官 (官房第三六一號)

但臨時軍事費艦營費支弁ニテ詳細ノ事項
艦政本部長ヨリ通牒ノコト

右艦内火災ニ際シ綠葉上必要ノモノニ付先以テ三等巡
洋艦以上ノ艦營需品トシテ備付ノ必要ヲ認メシ依

右訓令ノ趣及本品ノ艦營需品備品トシテ三等巡
洋艦以上ノ備付ヲ要スルモノニシテ英國シエガゴルマ
社製品ヲ購入ノ事ニシ契約締結済上其現品
納入期日ノ通報ヲ得度義其他詳細本部長ヨリ
横鎮長官ノ通牒 (艦本第二八九三號)

Handwritten notes and a circle at the top of the page.

九月廿五日

一、丸天幕 貳拾張

右舊式ノ分至急横需ノ保転送付方並ニ右旧式ノモノニシテ
残存ノモノハ角天幕代用トシテ戦利艦船ノ供給
ト本部長ヲ舞工廠長ノ通牒

(艦本第二九一〇號)

右前項ノ趣及現品着上ニ戦利艦ノ角天幕代用トシテ
供給方本部長ヲ舞工廠長ノ通牒

(右 同 號ノニ)

海
峽
領
南
洋
群
島
の
開
拓

1598

九月二十六日

八月中第二艦隊及第三艦隊に於て石炭及航海
用消耗品消費高累計表を各艦隊より送付来

新造駆逐艦海生に於て航海途中美炭より石炭
消費試験を施行せしむるに美炭約六七拾噸使用せ
しに度義横鎮長官より電信上申(官房三六八三號)
に對し認許電信指令

1599

溜
原
納

1600

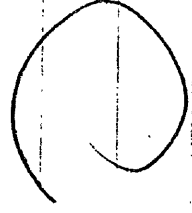
九月二十七日

本年六月艦本第一七二八號三通牒、別表雇入
船舶用第三種炭價格等中三菱合資會社
納長崎船積納、榭單價金五圓拾七錢五厘
金八圓改美、十月一日實施、事、本部長、
四鎮長官、各艦隊長官、各要港司令官、通
牒

(艦本第一七二八號九)

右價格、愛改ニ般炭價、騰貴上無己、依

去、二十三日官房第三六三一號訓令續、同日艦本
第一九三號ヲ以テ本部長、長官、通牒、防煙具
及酸素製造機壹組購入方、件、艦内火災、際、
操業用トシテ左記各艦、備付、目的ニテ納入上



各艦所屬會計官吏、保轄ノ事、致度又豫テ各
工廠、通牒、都合モ有之旁々現品納入期確定、
末期日通報、付度旨ニ部長ヲ通牒ノ兼子横需
主管、照會

壹等戰艦鹿嶋外計三拾隻 志度并志度 六拾組

貳等巡洋艦浪速外計拾九隻 志度并志度 拾九組

殘壹組 (即前附屬) 及酸素製造機志組、需品庫、保

管、下又本品主官、航海長主官、船匠科、取扱

ノコト

第一艦隊、於之八月中石炭及航海用消耗品消費
高談艦隊長官ヲ電信報告

九月二十九日

樺太嶋西岸「アレキサントルスキー」附近産出新「モカ
 ナ」炭、下「モカ」炭、下條第三艦隊機関長石
 炭現状視察報告(七月十日 西隊第五四八號)書ヲ第三艦
 隊司令長官ヲ進達(七月三十一日 西隊第五四八號三)ニ依リ右分折
 試験、左ノ少許當部へ送付方猶ホ陸上試験罐ニテ
 試験ノ遂ケ度ニ付約壹噸最近便ニ横需へ送
 付ノ得度義二部長ヨリ第三艦隊長官幕僚へ依
 頼(船本三第七五五號)セシ、前記石炭、外尚ホツ
 上「炭」共各壹噸送付方取斗置キニ尙參謀長
 ヲ二部長へ回答(八月十四日西隊五四八號三)有之、以テ
 右石炭三種試験上成績報方並ニ各種二三キ口
 宛當部へ送付ノ得度義本部長ヨリ横工廠長

(照會) (二十一日 艦本第二五三號)、處成績報告来ル (九月十日)

横廠第四〇七號、九八
艦本第二五三號、二二 又分拆用炭ヲ送付越セシ付造兵

廠(依頼) (九月二十日 艦本第二八五號)、一處是亦成績送付

来ル (廿九日兵廠第一六四〇號、二
艦本二第八八五號、二)

右新モガケ炭、ツエ炭、コマスキ會社所有炭山ミシテ下

モガケ炭山、官有ナリ

各地炭庫、件ニ付左記ノ通り軍令部長ニ商議

(九月二十一日 大機密第一四〇九號)

一竹敷馬公函館ノ三地點、今後有事ノ時ニ際シ、直ニ第一

種炭ノ蓄積ヲ要スヘキト尚ホ今回ノ戰役ニ於ケルカ如何ナル

ハキヲ以テ平時ヨリ相當ノ設備ヲ施シ若干ノ炭量ヲ貯

藏シ置クコト必要ト認ムルニ付テハ、現時蓄積シタル炭量ヲ

標準とし比際左記通り右各地ニ石炭庫建設相成度

建設スルキ炭庫容積 現在炭庫容積 總炭庫容積 第種炭現在量(九月日調)

竹敷若尾崎 二三〇〇噸 二〇九二噸 二五〇九二噸 二五〇六四噸

函 館 七〇〇噸 一三一一噸 八三一一噸 八一三五噸

馬 公 二〇〇噸 二七五〇噸 四七五〇噸 四二〇九噸

ニ、在仁川元露國石炭庫、其敷地ト共ニ之ヲ我海軍ノ所屬トシテ該炭庫ニ時機ヲ得次第第一種炭ヲ貯藏スルコトニ取斗相成度

三、現、基隆臨時貯炭場及大嶋需品支庫ニ貯藏シタル第一種炭、其係該地ニ貯藏ノコトニ取斗相成度

右、對シ左ノ通り可取斗回答

(官房機密第一〇八號三)

一、竹敷、常時多大ノ炭量ヲ貯藏スル設備ヲ為スコトハ追

テ 詮議スルコト、シ 現在ノ第一種炭ハ直々他ニ転送セサル
コト

二 函館ニ於ケル炭庫其他ノ設備ニ就テハ目下調査中
ナリ、但シ現在ノ第一種炭ハ直々他ニ転送セサルコト

馬公ニ於ケル炭庫ハ商議ニ基キ建増ヲナスコト

三 在仁川元露國石炭庫ノ其敷地ト共ニ牧用ニ我海
軍ノ所屬トスルコトハ事情ノ許サル所ナリ、付時機ノ
見テ詮議スルコト

三 基隆及大嶋ニ現在ノ第一種炭ハ當分他ニ転送セ
サルコト

九月三十日

第一艦隊、於九月八日中石炭及航海用消耗品消費高累計表ヲ該艦隊ヲ送附奉ル

第六臨時觀測所旅順口出張所、同所暖爐用トシテ第三種炭九五拾噸ヲ目途トシ必要ニ應ニ特供給方取斗ヲ、キ古旅鎮長官、訓令

(官房第三七五七席)

本件、本月廿五日付臨時高、跡ヲ以テ中央氣象台長、軍務局長、供給方依頼、依

1607

臨時軍事費任拂豫算

三十八年九月分

横須賀	經理部	吳	經理部	佐世保	經理部	舞鶴	經理部	旅順	主計部	經理局	海軍	株炭所	臨時煉炭	製炭所	計
定備品	六,九〇〇,〇〇〇	三,五〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
消耗品	五,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇
石炭	〇	三,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
臨時費	二六,〇〇〇,〇〇〇	六,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇
計	五九,九〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇

駐外領事館費

臨時軍事費仕拂明細書

三十八年九月分

項 目 細 別 金 額 備 考

臨時軍事費

艦務費

定備品

内訳

七六九〇〇〇〇

横須賀経理部

一五七九〇〇〇〇〇

艦國部隊二月分登記減費見
四月分全上

九月分経費増

五〇〇〇〇〇〇〇

車備量額補充
官房三六三三册訓令防煙具八

格組及酸素製法機等組購入費二

〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇

消耗品

内訳

五三〇〇〇〇〇

艦國部隊二月分登記減費見
上四月分全上

艦國部隊経費増

二〇〇〇〇〇〇〇

二〇〇〇〇〇〇〇

二〇〇〇〇〇〇〇

二〇〇〇〇〇〇〇

二〇〇〇〇〇〇〇

二〇〇〇〇〇〇〇

二〇〇〇〇〇〇〇

二〇〇〇〇〇〇〇

臨時軍事費

船營費

臨時軍事費

内訳

三、〇〇〇、〇〇〇

三、〇〇〇、〇〇〇 艦隊部隊経費三月份登記帳簿見
三、〇〇〇、〇〇〇 上四月份全上
一、〇〇〇、〇〇〇 特要スル需品保管及運搬費
一、〇〇〇、〇〇〇 同上

一九三六年七月 呉 経 理 部

定備品

内訳

三、五〇〇、〇〇〇

三、五〇〇、〇〇〇 準備量額補充

一、〇〇〇、〇〇〇 艦隊部隊経費九月份

消耗品

内訳

三、六〇〇、〇〇〇

三、五〇〇、〇〇〇 準備量額補充

一、〇〇〇、〇〇〇 艦隊部隊経費九月份

石炭

内訳

五、三〇〇、〇〇〇

五、〇〇〇、〇〇〇 第二種炭購入補充

一、〇〇〇、〇〇〇 第三種炭全上

臨時軍事費

内訳

六、四〇〇、〇〇〇

六、〇〇〇、〇〇〇 特要スル需品保管及運搬費増

五、〇〇〇、〇〇〇 艦隊部隊経費九月份

海味結

臨時軍事費 總管費

四七、二七、七六 佐世保経理部

定備品

四〇、四〇、〇〇〇

内訳

三九五、〇〇〇 準備量額補充

三〇〇、〇〇〇 艦隊部隊経費五月份登記減見

三〇〇、〇〇〇 上九月份増

三〇〇、〇〇〇 上 増

消耗品

一、二六、五〇〇

内訳

一〇、三〇〇、〇〇〇 準備量額補充

四、五〇〇、〇〇〇 艦隊部隊経費五月份登記減見

四、五〇〇、〇〇〇 上九月份増

四、五〇〇、〇〇〇 同上増

石炭

一、九五、三二七

内訳

七九、八〇〇、〇〇〇 第一種煉炭九千噸自備購入

四、六六一 高炭八千噸の買入

一、〇〇〇、〇〇〇 官房三二八噸の買入

一、〇〇、七八三、五〇〇 官房三二八噸の買入

一、四〇〇、〇〇〇 燃料及設備購入

九三、一六八、五二六 第一種炭購入補充

三、二四三、四九五 第一種炭同上

一、二五、〇〇〇、〇〇〇

内訳

臨時軍事費	總管費	海陸	二〇、〇〇〇、〇〇〇 海陸三〇九萬請未依増
臨時軍事費	總管費	陸海	七九、九〇六、五〇〇 臨時煉炭製造所
臨時軍事費	總管費	陸海	七九、九〇六、五〇〇
臨時軍事費	總管費	海陸	二六、四二四、〇〇〇 經理局
臨時軍事費	總管費	海陸	二六、四二四、〇〇〇 神戶其他用水代仕拂
臨時軍事費	總管費	海陸	三、二四一、九〇〇 長門炭採掘經費月額増 四、八〇四、六五〇 鐵道補給費 四、九〇四、六五〇 鐵道補給費 四、九〇四、六五〇 鐵道補給費 四、九〇四、六五〇 鐵道補給費

石炭及航海用消耗品在庫高調(三十八年九月三十日現在)

横需	共需	佐需	舞需	竹需	与要	大津	出船	旅順	合計
四〇五九	四六〇五六	三〇六六一	二七二七					五三九四	六八八七三
一五三九	八八七六	二七〇二七	四四七					一〇二二〇	七六〇八九
五三五二	八六八〇	九二〇五七	一三九七					〇	一八四八七
七二一	四三九一	一七〇四一	四二四一					七〇九〇	三二四八四
九一〇四	一一〇七二	一一五三二	三三八七三						五六七〇
四〇七〇	七二四〇四	二七九七〇	三三九八三						六二五三二
五八五七九	四二七四九	二七九六	三六三四						一六五五七
一八二五〇	五九九四一	二〇〇〇〇	三八三二						二八二六三
一八二五〇	五九九四一	二〇〇〇〇	三八三二						二八二六三
									七二五八〇